

今日の1冊 朝のひかりを待てるから

【著者紹介】

【内容】

人生をさかさまに生きられたら、人はもっと幸せなのに。十六歳の誕生日、ぼくはガールフレンドのニアが妊娠したことを知った…。十代の妊娠を少年の視点で描く、『天使のすむ町』に登場したボビーの物語。

アンジェラ・ジョンソン 作，池上小湖 訳



アンジェラ・ジョンソン

一九六一年アラバマ州生まれ。ケント州立大学中退。子ども向けの絵本、詩、物語を多数発表。コレッタ・スコット・キング賞を計三回受賞。著書に『クール・ムーンライト』『天使のすむ町』など。

池上小湖（いけがみ・さこ）

大阪生まれ、ニューヨーク育ち。京都薬科大学、マサチューセッツ薬科大学大学院卒業。薬剤師、研究開発職、医薬翻訳者も経験したが、児童書のほうが断然楽しいことに目ざめた。邦訳に『臓器移植』、英訳に『花さき山』『モチモチの木』など。